

令和元年度第2回国有林モニターアンケート(結果概要)

東北森林管理局では、開かれた「国民の森林」の実現に向け、国民の皆様のご意見やご感想を適確に把握し、それらを反映した管理経営を推進するための取組の一つとして、国有林モニター制度を設けています。

この度、令和2年1月に、令和元年度第2回国有林モニターアンケートを実施しましたので、その結果概要についてお知らせします。自由意見等については、抜粋・整理して掲載しております。

今回アンケートにご協力いただきました国有林モニターの皆様に、厚く御礼申し上げます。

○アンケートの実施概要

発送 : 令和2年1月29日
回答期限 : 令和2年2月14日
回答率 : 75%(48人中36人)

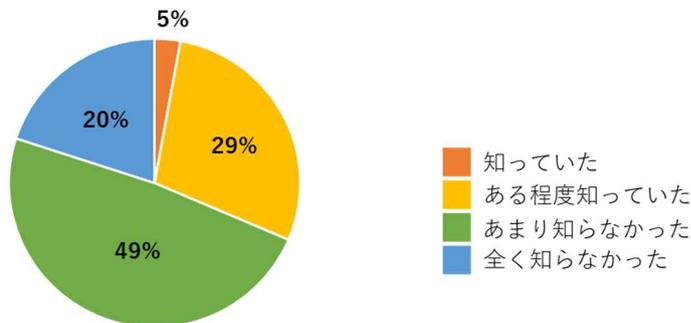
国有林モニター制度とは、アンケートの実施やモニター会議の開催等を通じて意見を伺うほか、広報やパンフレットで情報提供を行うなど、国民の皆様と国有林との間で、双方向の情報受発信を行う取組です。

現在、平成30年4月～令和2年3月の2年間を任期として、管内5県の48名の方に国有林モニターとして活動していただいております。

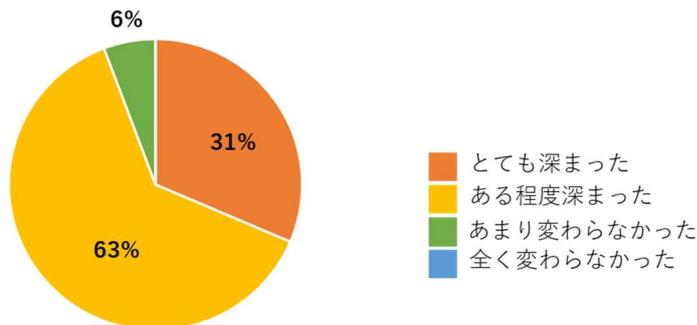
1. 国有林について

国有林モニターを通して、国有林の取組について以下の問いにお答えください

(1) 国有林モニターになる前から、国有林の取組についてご存知でしたか。



(2) 国有林モニターになる前と比較し、国有林の取組に対する理解は深まりましたか。



○理由(自由記述)

【とても深まった・ある程度深まった】

- ・現地見学会やモニター会議への参加を通じて、森林を適切に管理するためには、様々な取組があること、また森林の現場のみならず制度の構築や民間での取組等も重要であることを知り、理解が深まりました。
- ・国有林に関する業務は、一般的に中々目に触れなく、その内容を知るには特別な機会がないと出来ないのが実態かと思います。今般、現地見学会などに参加する機会や資料等で知ることが出来たのが大きな理由です。
- ・「みどりの東北 我が署の名所」を注目して見ている、実際に現地に行き、森林の持つ魅力を知りました。
- ・国有林は日本国民にとってなくてはならないとても大切なもので、それを管理・運営されている林野庁も重要な機関であり、大切な仕事をされていると思いました。
- ・クマやイノシシなどによる被害のニュースを時々聞きますが、各地で様々な問題が起こっており、それらに対処している様子が分かりました。国有林を含めて、林業に関する新聞記事やテレビのニュースに、今までよりも目が向くようになりました。
- ・国有林と民有林はともに深い関係があり、国有林は施策や林業経営の方向性を示しながら目的の森

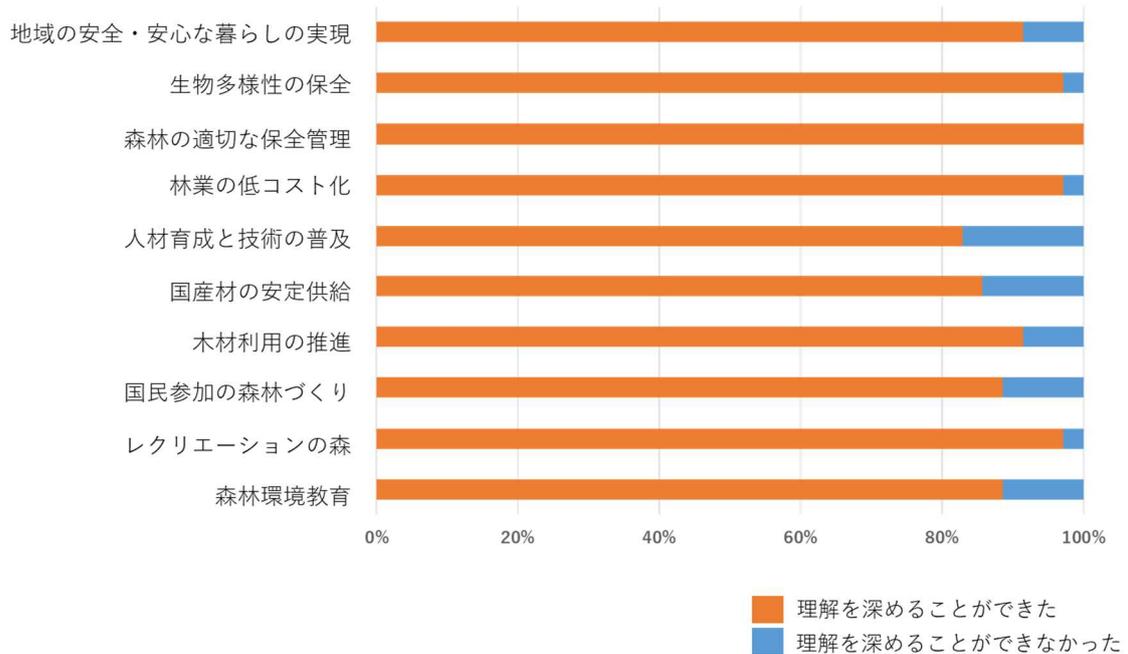
林・林業等をリードする立場であることを具体的な事例から学ぶことができました。

- ・テレビ、新聞の自然環境・森林災害などのニュースや記事を国有林の取組などと結びつけ、興味をもって接するようになりました。

【あまり変わらない】

- ・現地見学会に参加できず、実際の現場を体験できなかったため。

(3)①次の国有林の取組について、理解を深めることができましたか。



○理由

【地域の安全・安心な暮らしの実現】

- ・近年災害や豪雨の影響で治山事業の重要性を身近なものとして感じるため。
- ・地域密着した問題に取り組んでいるため。
- ・蛇喰沢じゅばみさわで治山事業を見学、安心安全な国土づくりに努力している様子を感じとれたため。

【生物多様性の保全】

- ・一度損なわれた生態系をもどすためには、長い時間がかかるため。
- ・各県ごとの単位でなく、各県の繋がりを作り、森を守ることが出来るから。
- ・自然環境を整備し、次世代へつなぐ使命を果たしているため。
- ・生物多様性の保全がなぜ必要なのかを理解する必要があると感じるため。
- ・まだまだ足りないと感じるため。

【森林の適切な保全管理】

- ・国有林だけではなく民有林とも一体となって取り組んでいるから、必要な取組であると考えているため。

- ・岩手のシカ対策を現地を見て大変な苦勞が分かったため。
- ・地域住民にとっては大きな問題であるため。
- ・努力は分かるが効果が少ないため。

【林業の低コスト化】

- ・日本の森林規模を考えたとき、財限があることを鑑みれば低コスト化は不可欠であるため。
- ・馴染みがなくよく分からなかったが、努力していることを知ったため。
- ・ハーベスタによる伐採や一貫作業システムを間近で見学し、林業における生産性向上を実感できたため。
- ・3Kの代名詞の一つ林業が、魅力ある職業へ変身することを期待するため。
- ・業務を受注する事業者は、高性能林業機械を揃えるのに高額な資金が必要であり、低価格発注は業者泣かせのように感じるため。

【人材育成と技術の普及】

- ・山の仕事は地味な職業だが頑張っで欲しいです。
- ・国土保全・生活の安心のために必要なことだと思つたため。
- ・若い林業者が作業している姿を見学させてもらい、後継者の育成に取り組んでいる姿を感じとれたため。
- ・少子化が進むなかで、男女問わず活動できるような技術が必要であるため。
- ・人材育成と技術の普及に関する仕事が見えないため。

【国産材の安定供給】

- ・外材に押されていながらも間伐材の工夫を始めとし、国産材の安定供給に関する取組を知つたため。
- ・必要とされる材の安定供給は、国有林の持つ大きな役割だと思つたため。
- ・可能であれば、国産材だけでまかなえるようになってほしいです。
- ・国有林だけではとても賄えないとを感じるため。
- ・意欲のある関連業者への支援策がもっとあればと思う。

【木材利用の推進】

- ・森林を身近に感じるためにも、国産材が多くのもところで使われるようになることが重要であるため。
- ・公共の建物にもだいたふ木材の利用が広がっていると感じているため。
- ・グッドデザインの建築物や木を利用したストローなど魅力的なものが多いとを感じるため。
- ・東京オリンピックの各県木材を利用した新国立競技場に感動しました。
- ・木材の有効活用も見直されているが、一部での取組のように感じるため。

【国民参加の森林づくり】

- ・森林を身近なものにするために大切な取組であるため。
- ・小中高校にPRし、行事への参加を進めてほしいです。

- ・子どもたちを巻き込んだ森づくりを大切にしてほしいです。
- ・森への親しみ、暮しの充実等、森林環境の果たす役割は大きいと思います。
- ・どこでやっているのかわからないため、宣伝方法の改善が必要だと思うため。
- ・まだ、国民へ浸透しているとは思えないため。

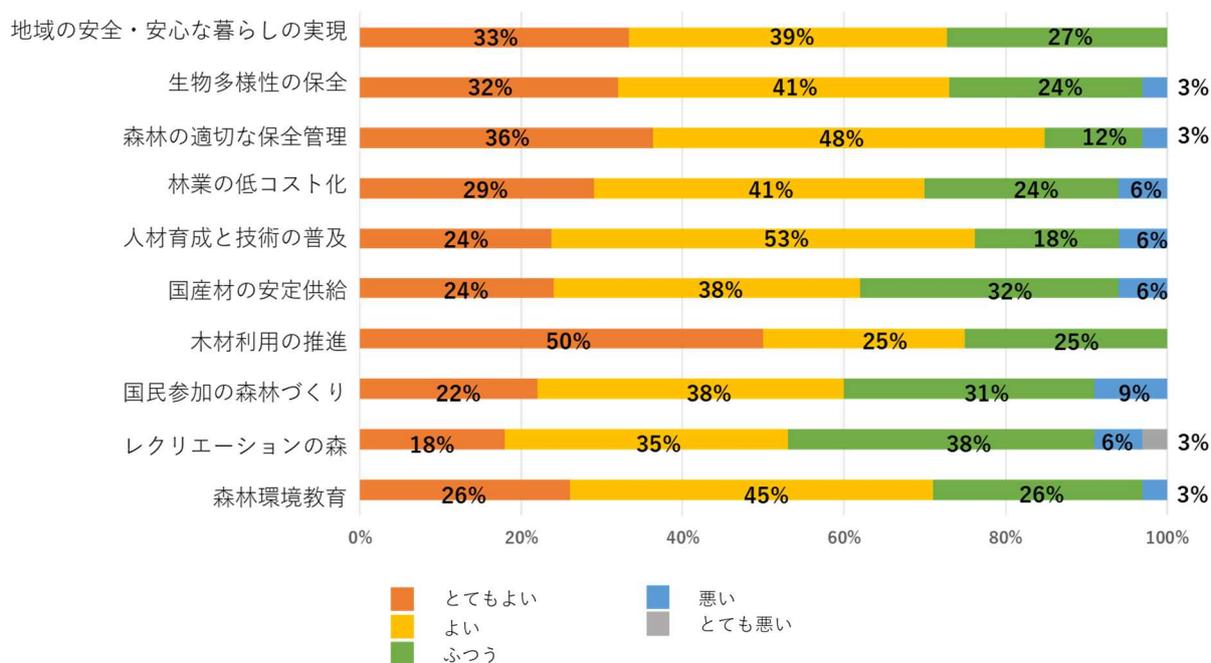
【レクリエーションの森】

- ・癒し効果としての森林づくり、森林のあり方を知り、また多様な楽しみ方も分かったため。
- ・若者や子供と楽しめる場所として継続維持をお願いしたいです。
- ・自然と直接触れ合える環境が身近に整備されていることに感動しました。
- ・市民参加可能な行事が増えたらいいと思います。
- ・より積極的なPRが必要であると感じるため。

【森林環境教育】

- ・子供のうちから森に親しみを持ってもらう取組は必要であるため。
- ・学校教育のなかで、積極的に取り入れてほしいです。
- ・ボランティアも交えて四季折々、和気あいあいと活気のあるものであって欲しいです。
- ・未来を担う子供たちに森林の大切さをもっと知らせるために、出前講座等をもっと活用すべきだと思うため。
- ・普段にはあまり聞いたことが無く、いつどこで行われているのかわからないため。

②次の国有林の取組についてどのようなイメージを抱いていますか。



(4) 国有林が今後、どのような働きを果たすことを期待しますか(3 つまで回答可)。



(5) 国有林の取組に対するご要望・ご意見等がございましたら、ご自由にお書き下さい。

- ・国有林の取組が重要であることは理解できたが、やるべきことが限りなくあるように思います。その中で民間への委託を増やしたり、個人でもできる事を教えてもらう機会があるといいと思いました。
- ・国有林の経営もさることながら、森林環境税も導入された今、地方自治体も単なるその配分金の受け皿に留まるのではなく、もっと積極的な森林経営が推進されるように、国の方からも促して欲しいと思います。
- ・国土保全の面から見ると国有林だけが森林というわけではないと思うので、日本全体の森林をリードする立場でいてほしいと思います。民有林は放置状態にあるように見えます。
- ・木材生産の低コスト化を進めるとともに、安定供給を目指してほしいです。高性能林業機械による効果的な作業になるような補助金、民間活性化のためにも、続けてほしいです。
- ・山地災害を未然に防止できるような治山事業を進めてほしいです。
- ・山歩き、散策ができるような山づくりをしてほしいです。
- ・子どもたちへの森林教室等の取組で、興味を持った子どもに対し、林業は安全で、人のためになることをしている仕事ということが伝われば、将来林業に携わる人も増えると思います。
- ・人材育成には時間を要するため、林業に興味を持つ人もすぐに関わる事が出来ないし、断念してしまう人もいます。林業への就労に関して、もう少しハードルを低く出来たら良いと思います。

「1. 国有林について」 まとめ

69%の方が国有林モニターになる前は国有林の取組について「あまり知らなかった」「全く知らなかった」と回答しましたが、94%の方がモニター活動を通じて国有林の取組に対する理解が「とても深まった」「ある程度深まった」と回答しました。「とても深まった」「ある程度深まった」と回答された方は、モニター活動の中でも、特に現地見学会により理解を深めることができたところのご感想が多く、「あまり変わらなかった」「全く変わらなかった」と回答された方は、現地見学会や会議へ参加できなかったことを挙げていました。実際に現地を見たり意見交換をしたりすることが理解度につながっていることが分かります。

国有林の取組に対する理解について、選択肢に挙げた全ての取組において8割以上の方が理解を深めることができたという一方で、「人材育成と技術の普及」など、取組が目に見えないことで理解を深めることができなかったとの回答がありました。

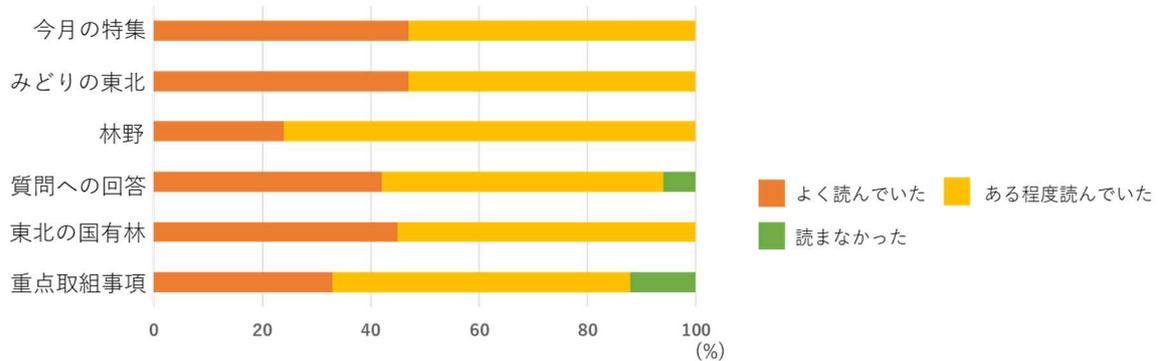
国有林の取組のイメージについて、「とてもよい」「よい」と回答した人は全体で7割となりました。一方で、「取組が分からない、十分でない」との理由から「悪い」「とても悪い」との回答がありました。特に「レクリエーションの森」は一般国民が利用可能であるにも関わらず「どこにあるか分からない」「宣伝が必要」との意見から「とてもよい」「よい」との回答は約5割となりました。

国有林が今後、どのような働きを果たすことを期待するかについて、H30年第1回目のアンケートと同様の傾向が見られますが、「二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化に貢献する働き」「心身の癒しや安らぎの場を提供する働き」は前回から約15%伸びており、環境問題における森林の役割や、人々に与える効果に期待が高まっていると考えられます。

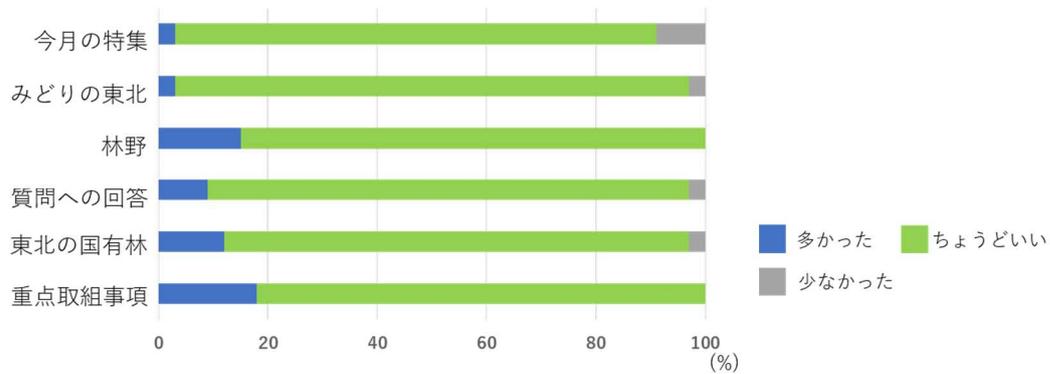
国有林野事業について、取組の必要性・重要性は理解されているものの、取組が目に見えないことで理解を得られていない、イメージが悪いとの回答があったことから、モニター活動を通じて、より多くの取組を実際に見ていただく機会を設ける、取組内容をより分かりやすく発信する等、一層ご理解いただけるよう取組んで参ります。

2.情報発信について

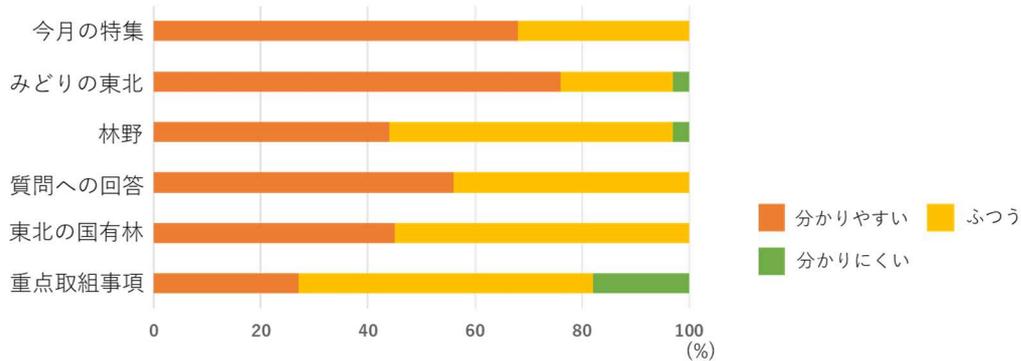
(1)①各資料は、どの程度読んでいましたか。



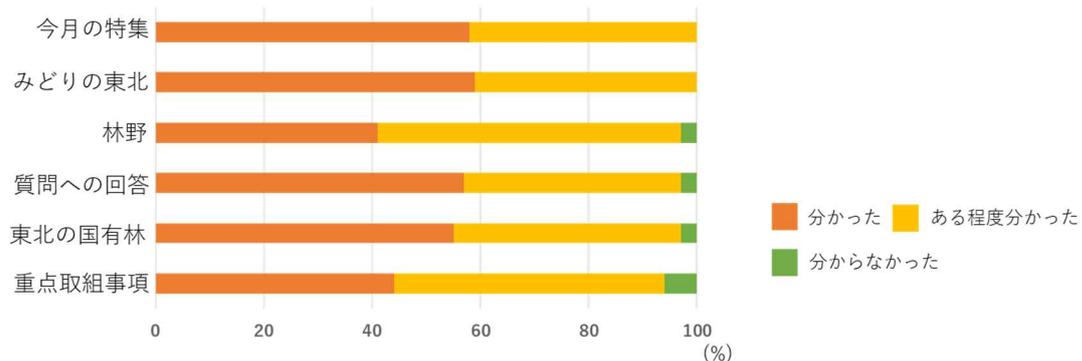
(1)①各資料の分量はいかがでしたか。



(1)①内容は分かりやすいものでしたか。



(1)①国有林の取組が分かる内容でしたか。

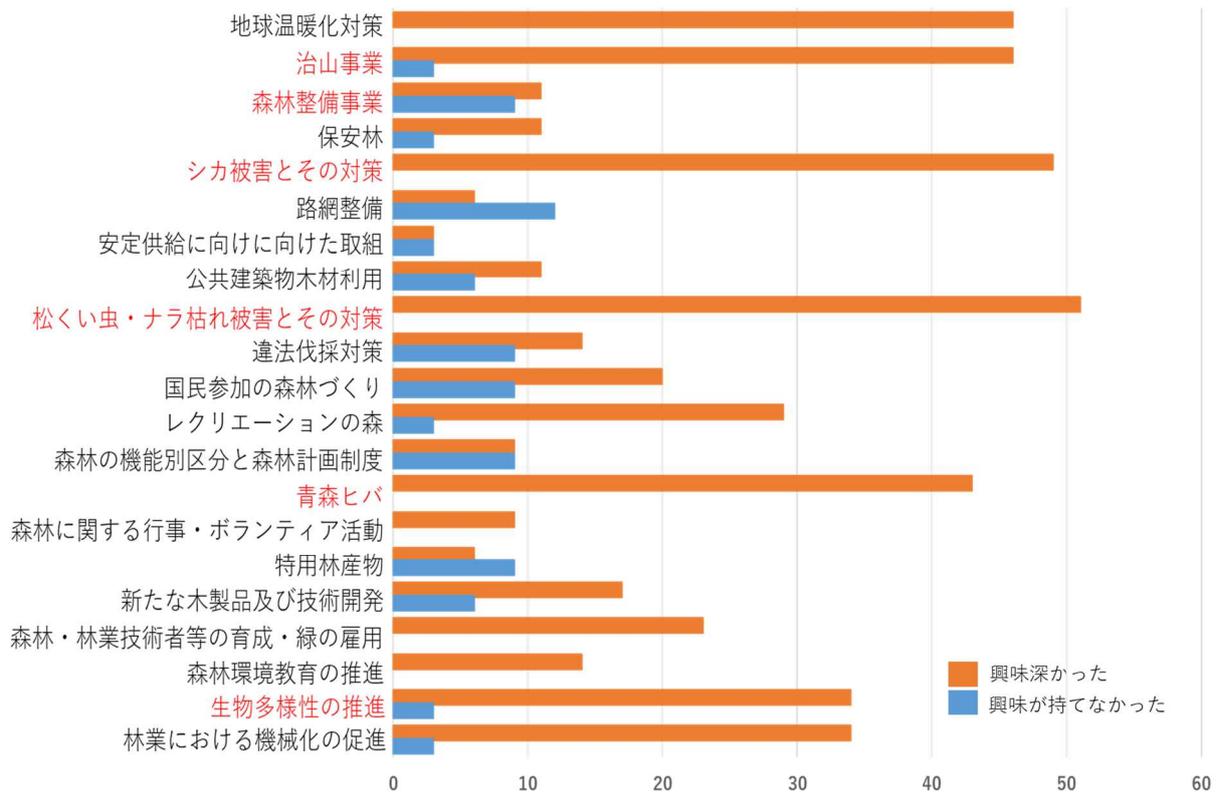


②これまでの配布資料で、改善すべきだと思う点があれば教えてください。

- ・強いて言うと、もう少しかみ砕いた、中学生にもわかる位の書き方だといいいのではと思います。
- ・数字があるだけではその数字の意図するところや意味など汲み取ることが難しかったです。「これは体育館何個分のこと」「通常は～なので、標準より多い(少ない)」などあるとより一層、理解することができたかもしれません。
- ・みどりの東北は、広報誌というよりも、内向け、仲間向けの機関誌のように感じました。誰にどのような方々に読んでもらうべきなのか、内容というよりも志向を凝らしてはどうでしょうか。
- ・理解させるではなく、感じ取ってもらうくらいでもいいと思います。文字が多すぎればあまり読まなくなってしまう。興味を持ったら、より詳細に分かるHP等を読めばいいと思います。
- ・今月の特集について、A4 一枚だとやや物足りませんでした。興味のある人向けに参考資料(書籍)、参考HPを載せた方がいいと思います。
- ・解らないと想定される用語等については、本文の下段に注釈で用語解説があれば、よりタイムリーに理解が深まると考えます。

(2)「今月の特集」のテーマについて以下の問いにお答えください。

①興味深かったテーマ、興味を持てなかったテーマを教えてください(複数回答可)。



※赤字のテーマは H30、R1 に開催した現地見学会の見学内容と一致

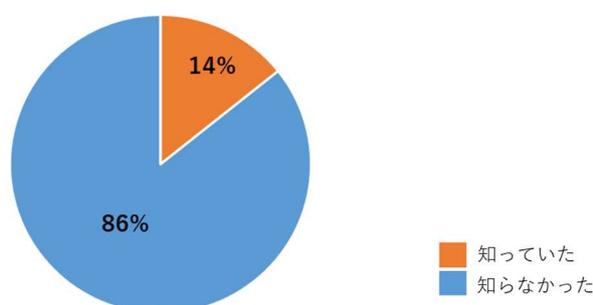
②特集を組んで欲しかった

- ・スマート林業について。
- ・国有林の天気・気象について。

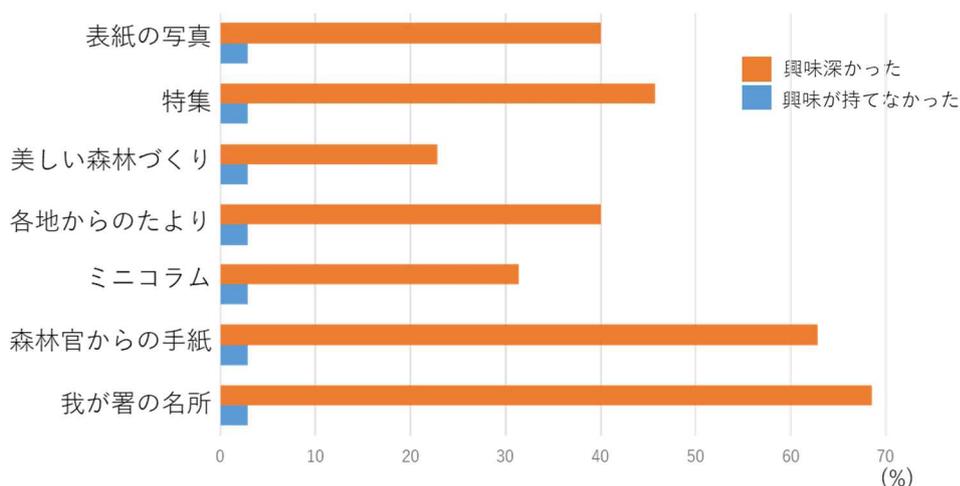
- ・地元の国有林のみならず林業の現状について知ることができるテーマを設定してほしいです。
- ・様々な種類の森林がありますが、例えば秋田杉や青森ヒバの性能の違い等、個々の性能や性質等詳しく一見できるような資料がほしかったです。
- ・秋田杉の実態について。
- ・日本の森林・林業、国有林がこれまで歩んできた歴史について。
- ・国有林の昔と令和を迎えた今について(時代ごとの国有林の範囲など)。
- ・発行済み書籍や新刊の紹介について。
- ・人と動物が共存するために、どうすればいいのかについて。
- ・安全な暮らしをどう守っていけばいいのかについて。

(3) 広報誌「みどりの東北」について

① 国有林モニターになる前から「みどりの東北」をご存知でしたか



② 興味深かった項目、興味が持てなかった項目を教えてください

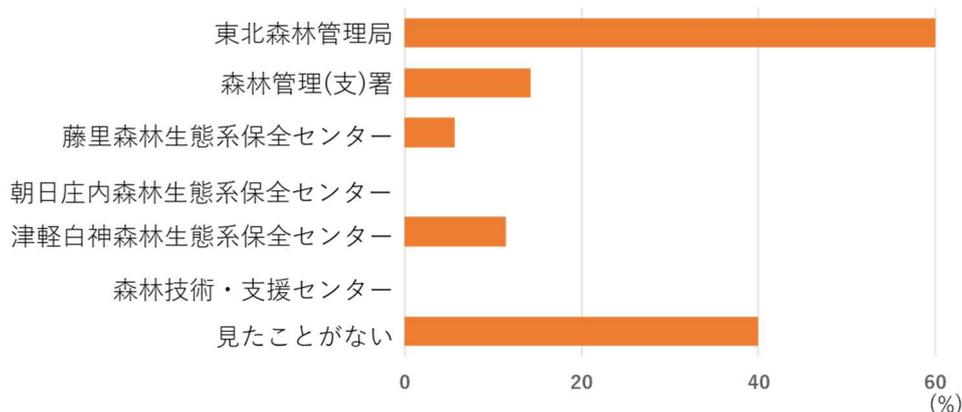


③ 広報誌に掲載して欲しい情報があれば教えてください

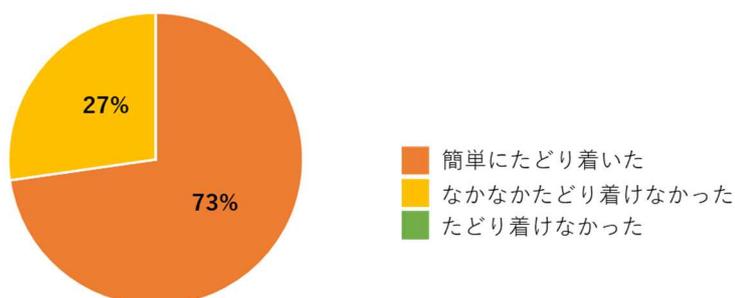
- ・地域の情報を前倒して掲載してほしいです。
- ・開催予定のイベント情報を掲載してほしいです。
- ・林業行政を推進するうえで、縁の下の力持ちとなっている現場で働く人々の姿や状況をもっと世間に広く伝えて欲しいです。
- ・文字のフォントや大きさがバラバラで字が小さく読みにくいです。

・モバイル時代ですので、QRコード読み込みで検索したいサイトや写真が閲覧できると簡単に知りたい情報を得ることができると思います。

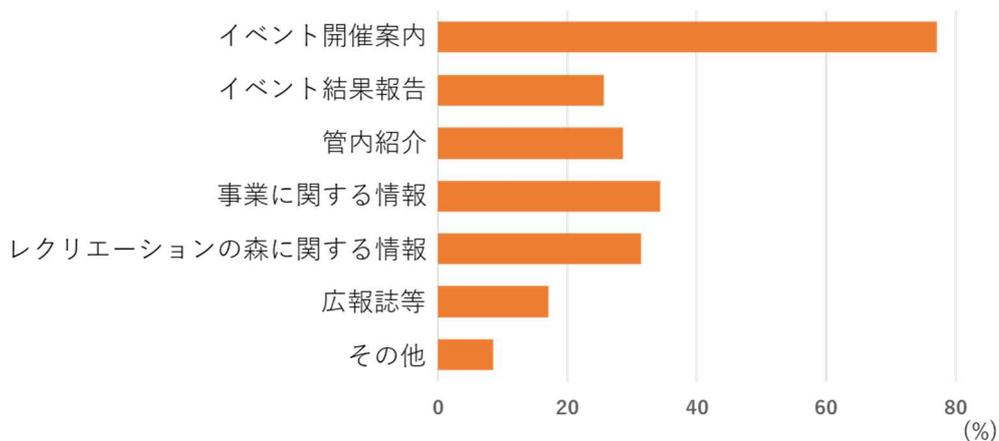
(4)①東北森林管理局、各森林管理署、各センターのホームページを見たことがありますか(複数回答可)。



②知りたい情報まで簡単にたどり着けましたか。



③ホームページにおいてどのような情報を期待しますか。(複数回答可)

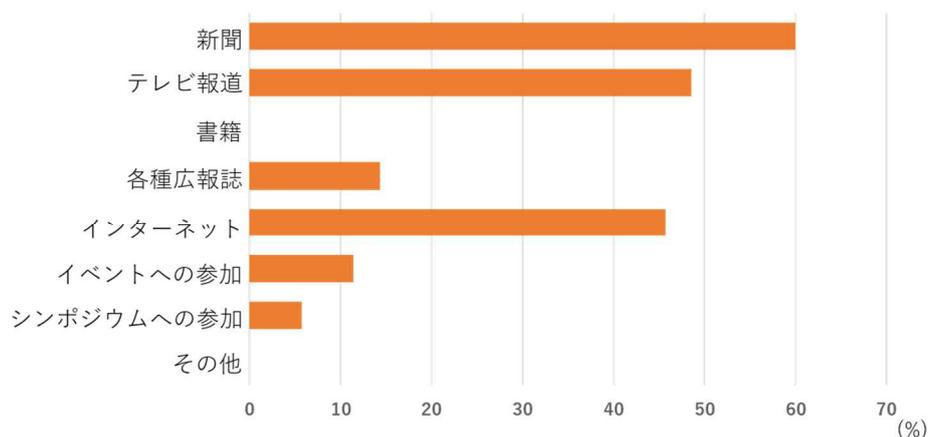


④ホームページに対してご意見があれば教えてください。

- ・スマホで見るにはちょっと文字が多いと感じます。
- ・月に1度くらいは閲覧したいです。ワクワクドキドキする内容であれば継続したいと思います。

- ・イベント開催、レクリエーションの森に関する情報をチェックしたいです。
- ・以前開催された現地見学会やモニター会議を見ることができ、参考になりました。関わりがないとこまめでたどりつく人が少ないかもしれません。PRは必要だと感じます。

(5)モニターで送付する資料以外に、どのような方法で国有林に関する情報を得ていますか(複数回答可)



「2.情報発信について」まとめ

発送資料について、ほとんどの方に資料を読んでもらうことができました。内容や分量についても「分かりやすい」「ちょうどいい」との回答が多い結果となりました。一方で、「物足りない」とのご意見もあり、参考資料の送付など、より詳細に知りたい方向けの工夫が必要であることが分かりました。

「今月の特集」について、「興味深かった」と回答が多かったテーマは平成30年度、令和元年度の現地見学会のテーマでもあり、実際に見学したことで興味関心が高まる結果となりました。

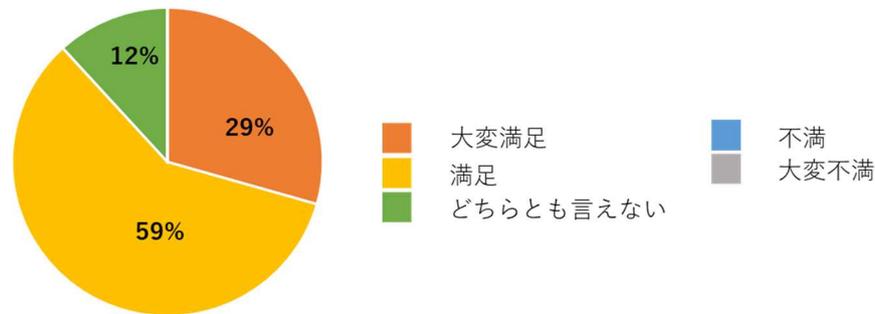
広報誌「みどりの東北」について、モニターになる以前から知っていたとの回答は14%と、一般に知られていないことが分かりました。内容について、興味深いとの回答が多かったのは「我が署の名所」「森林官からの手紙」で、地域の話や森林官等現場で働く人に興味関心が高いことが分かりました。広報誌に期待する情報としては、地域の情報やイベント案内を掲載して欲しいとの要望がありました。

ホームページについて、60%の方が東北森林管理局のホームページを見たことがありましたが、各(支)署、各センターのホームページについては認知度が低い結果となりました。また3割の方が、「知りたい情報になかなかたどり着けなかった」と回答し、より検索のしやすさが求められています。ホームページに期待する情報として、「イベントの開催案内」との回答が多くありました。

いただいたご意見を基に、幅広い方へ情報を届けられるよう、発信媒体の周知や掲載情報の充実に努めて参ります。

3. 国有林モニターについて

(1) 2年間を振り返って、国有林モニター活動はいかがでしたか。



(2) 現地見学会と会議への参加、国有林モニターアンケート以外に、国有林モニターとしてやってみたかった活動や、改善点があれば教えてください。

- ・他のモニターの方と意見交換。
- ・イベントへの参加やボランティアとして活動。
- ・林業体験、間伐の実体験。
- ・県、市町村(又は森林組合)等との会議の傍聴。
- ・木材の加工をしている工場の見学。
- ・東北のモニター全員を1箇所を集めて現地見学会を行うと、どうしても遠方の方のことを考えて活動時間が短くなってしまうため、2箇所等に分けてもう少し現地見学の時間を長くしてほしいです。
- ・小学校等で実施している森林環境教育への参加。
- ・森林や林業等に関する講演会への参加。
- ・森林管理署における業務見学。

(3) 国有林モニターになって良かったと思うことがあれば教えてください。

- ・森林についての見方が変わり、それを維持するために自分も何かしたいという思いが生まれたこと。
- ・個人的に山に分け入る機会もあったが、モニターで得られた知識が有ることによって、更に山林に対する興味が深まったこと。
- ・普段ならば目にすることも、入ることさえ難しいような国有林を、職員の方にガイドをしていただきながら歩いたこと。またドローンを活用し鳥の目になった感覚で森の奥を見ることができたこと。
- ・広報誌を通じて森林に関する様々な角度からの知識を得ることができ、新聞報道などを理解できるようになったこと。
- ・子供のために現在の国有林の現状やこれからの活動、子供が成長して大人になった時に国有林は守られているのか等、全く知識がなかったので、モニター活動を通じて様々な事を知ることができたこと。
- ・定期的に各県を周り、それぞれの特性や問題等共通することもあり、勉強になったこと。また他の国有林モニターの方とお話することができ、各々の理由で参加されていることを知れて世界が広がったこと。
- ・新聞やテレビ等で、森林のことについて関心を持つことができたこと。

- ・森林に興味はありましたが、国有林の事についてあまり知りませんでした。しかし国有林モニターになり現地見学会に参加することで国有林の果たす役割や林業の様子を知ることができてとても良かったです。
- ・森林や林業に対する親しみが深まり現在取り組んでいる日本の林業について多少なりとも理解することができました。森林・林業、木材の魅力に改めて感心しました。
- ・いつもの慣れ親しんでいる風景が、いろんな活動で維持できていることや、たくさんの関係者が惜しみない相違工夫、技術の伝承、安全な取組などにより森林活動に介する事で新しい物への追求、次へのステップへと邁進している活動や取組の内容を知ることができたこと。

(4) 国有林モニター終了後、国有林、森林・林業、木材利用とどのように関わっていきたいですか。ご自由にお書きください。

- ・植樹体験のイベントに参加する機会があれば参加してみたいです。
- ・仕事で建築材料の選定の時、なるべく木製品を薦めています。
- ・近くの森林で保護地域の損傷防止のパトロールを週末でよければ参加してみたいです。
- ・登山道の維持を行いたいです。
- ・モニター会議で、他のモニターの方が既にボランティアに取り組まれている事を知り、刺激を受けました。私の住んでいるところは自然いっぱい、他方でそこにあるがゆえに、逆に学ぶ機会が少ないのかなと感じることもあります。環境教育といえるほどではありませんが、絵本の読み聞かせで森に関する本を選ぶ等、身近なところから取り組んでいきたいと思えます。
- ・イベントやシンポジウム等の行事に参加してみたい。宣伝をよろしくお願いします。
- ・モニターで得られた知識を活用し、地元産材の利活用について、大いに宣伝して行きたいと思えます。
- ・ホームページや広報誌等から、積極的に情報を入手し、仕事やボランティア活動で役立てたいです。
- ・自分で参加できる範囲で森の活動に協力したいと思っています。参加したいと思っている人にどのように情報発信していただけるかが課題だと思えますが、国有林モニターを過去にやった方には何かしらの情報を提供していただけるとありがたいです。
- ・森林ボランティア団体に入会しているので、これからも森林や林業とは深く付き合っていきたいと思っています。
- ・これからも自分ができること、例えばイベントへ参加したり、学んだ知識を子供に伝えていけたらと思えます。
- ・国・県・関係団体等が開催する諸行事があるときは、積極的に参加したいと思えます。
- ・薪炭共用林の活用を今後も続けていきたいです。
- ・国有林だけでなく、日本の森林保全のため一般の森林のあり方(経済性等も含め)を考えていかないといけないと思えます。
- ・私は仕事上国有林、林業との関わりがあり、切っても切り離せない関係ではあるが、国有林モニターになる前は理解していないことの方が多かった。木材の活用等、今まで学んだことをイベントで発揮する予定です。
- ・関連会議や各種イベント等に参加したいです。
- ・千歳山の植林を今後も続けたいです。

- ・国有林モニターになる前からすると、林業についての関心がより高まりました。新聞やテレビ、ネット等、目に多くとまるようになった。気づいたりしたことを地域や社会のために少しでも役立つように、声を出していくつもりです。
- ・ニュースや新聞などで国有林や森林・林業に関する内容をチェックし、関心を持ち続けたいです。
- ・薪ストーブユーザーとして民有林の整備をしています。放置林の間伐、道路際の整備で薪用の木を集めて少しでも環境のためになればと思っています。
- ・子供を連れて参加できるイベントがあればぜひ行きたいと思います。
- ・里山暮らしを楽しみたいです。小学生を対象に春と秋にキノコの植菌、収穫体験を受け入れていますが、学んだことを自身の糧としながら楽しく継続していきたいです。
- ・情報誌を引き続き身近に置きたいと思います。
- ・木材を使った遊びや工作を交えながら、森林や木材があることで生活ができていることを次世代へ伝えていけたらと思います。
- ・今年我家の山林を伐って売り、また植林することとなっています。今後どのように山が育まれていくのか見守りたいと思います。

「3.国有林モニターについて」まとめ

モニター活動について、「大変満足」「満足」の割合は 88%と多くの方に満足していただくことができました。

やってみたかったこととして、年 2 回の現地見学会のみならず、「イベントへの参加」「ボランティア活動を行いたかった」「講演会へ参加したかった」との意見をいただきました。より国有林野事業を理解していただくために、各署で開催されるイベントへの参加等、今後の活動の参考とさせていただきます。

国有林モニターになり、国有林野事業への理解はもとより、森林・林業への興味関心が高まったとのご意見を多くいただきました。国有林モニター終了後も自己啓発や自身の身の周りへの発信等、様々な形で国有林をはじめ森林・林業と関わりを持ちたいとのご意見をいただきました。

今後も多くの方に森林・林業について知っていただき、ご意見をいただけるよう取組を続けて参ります。

4.モニター会議について

11月22日(金)に開催したモニター会議に参加された方にお伺いします。

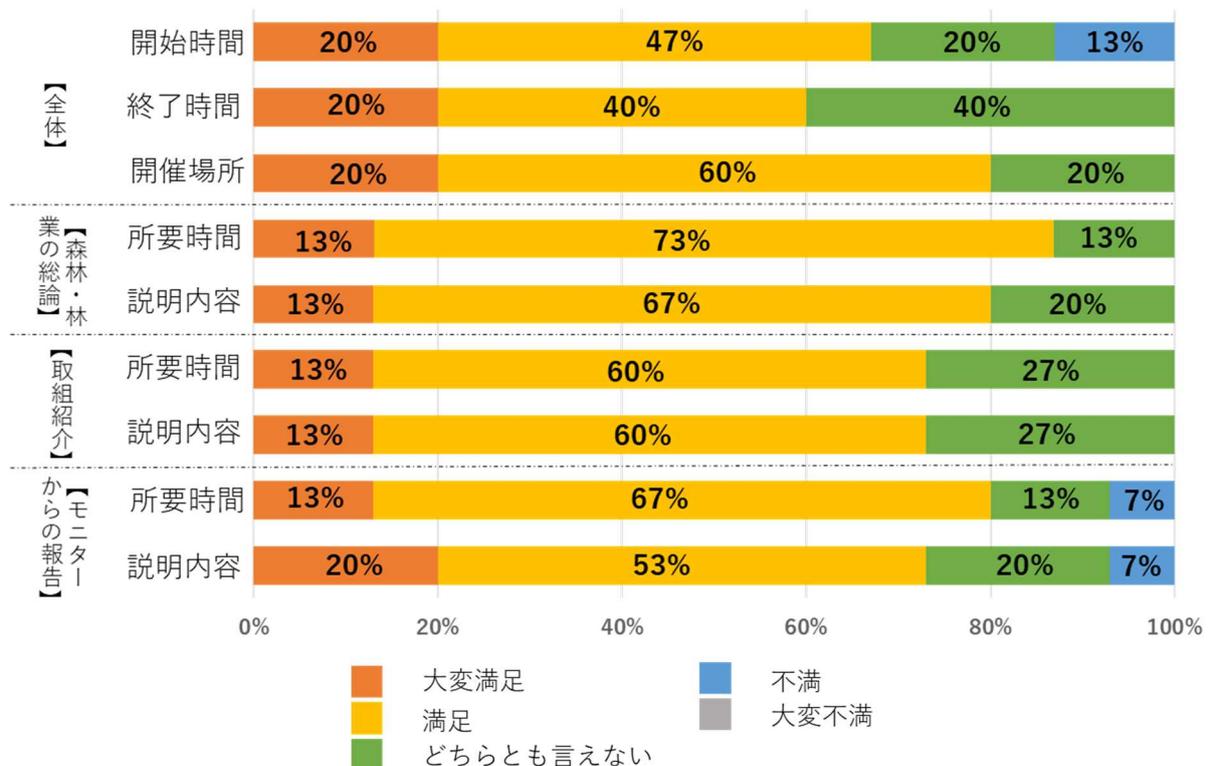
(1)モニター会議全体の満足度について教えてください。



○感想

- ・会議そのものは大満足ですが、やはり遠く、もう少し近いところであればなおよかった
- ・他県の方とのふれあいもできたし、また様々な意見を聞けて勉強になった。
- ・日ごろ考えている点について幹部の方から直接拝聴し満足である
- ・ちょっとでも見学をしたかった。
- ・全体の時間が短く、もう少し色々な意見が聞きたかった。

(2)当日の会議内容について、当てはまるものをお選びください。



○感想

【開始時間】

- ・この時間でなければ参加できませんでした。
- ・午前中が良かったです。

【終了時間】

- ・乗り継ぎがあるのでもう少し早くても良かったかもしれません。
- ・時間が短すぎと感じました。

【開催場所】

- ・森林管理局の雰囲気が分かって良かったです。
- ・初めて秋田の街を一人歩くには調度良い距離でした。
- ・秋田駅の秋田杉が綺麗で、森林の活用されているところを見ることが出来ました。
- ・別の場所にして、少し見学をしたかったです。

○総論

【所要時間】

- ・コンパクトで丁寧な説明でした。
- ・森林環境税についてあまり理解していなかったので、内容について詳しく説明がありよかったです。
- ・説明が難しく分かりづらかったです。

【説明内容】

- ・集中することができ、調度良い時間配分でした。
- ・簡潔明瞭で満足でした。
- ・短いと感じました。

○取組紹介

【所要時間】

- ・最近の状況を含めた説明で興味深かったです。
- ・参加者1人1人から意見が聞けて、国有林への関心の高さにびっくりしました。
- ・説明が具体的でよかったです。

【説明内容】

- ・長過ぎず良かったです。
- ・意見交換の時間が短いと感じました。

○モニターからの報告

【所要時間】

- ・もう少し長くても良かったと思います。
- ・数名がつい長くなってしまったが、帰りの時間があるため、ある程度で次の方に回しても良かったと思います。

【内容】

- ・皆さん森林管理について詳しく、刺激を受けました。
- ・モニターの方それぞれの感じ方があり、大変勉強になりました。
- ・県の特徴が聞けて良かったです。

(3)モニター会議について、ご意見・ご感想がございましたら教えてください。

- ・モニターの方々のお話も興味深く、開催場所まで少し遠かったですが、思い切って参加してみて良かったと思いました。
- ・局長さんからのお話を伺うことができ満足でした。
- ・現地見学会だとなかなか時間がなくて他の方の考え等が聞けないので、モニター会議の場を設けて話し合うのはいいと思います。
- ・欠席された方もあるようですが、全員参加が望ましかったと思います。
- ・実際に現地に同行いただいたスタッフの方々も参加していただき、意見交換したかったです。
- ・全員発表できるよう時間的な配分をお願いしたいです。
- ・見学箇所で、モニター会議も入れるくらいでもいいのではと感じました。百聞は一見にしかず、見学や体験をしたかったです。
- ・座談会のような時間もあつたらいいと感じました。
- ・限られた時間で沢山の内容でしたので、もう少し時間を延ばすか、テーマを絞ってほしかったです。

「4.モニター会議について」まとめ

モニター会議について、「大変満足」「満足」の割合は 86%と多くの方に満足していただくことができました。国有林の取組について具体的な内容を知ることができた、参加者 1 人 1 人から意見を聞いて刺激を受けたとのご感想をいただきました。

一方で、時間が短かった、見学をしたかったとの意見もあり、開始時間や会議の構成について、今後の参考にさせていただきます。